会　議　録

会議体名		令和3年度第6回豊島区男女共同参画推進会議・女性活躍推進協議会
開催日時		令和4年3月29日（火）10時～10時50分
場　　所		豊島区役所本庁舎　807・808会議室
出席者	委員	クリストッフェル　クランツ、有里真穂、ふまミチ、星京子、清水みちこ、ミラ　ゾンターク、北野新弓、大谷久美子、比金敏彦、矢口節子、本村久美子、原田諭貴子、本田茂樹、森雅信、原実則、水谷文
	事務局	総務部長・男女平等推進センター所長・係長・係員・株式会社創建
公開の可否	会議	公開
	会議録	公開
会議次第		議題 （１）「第５次としま男女共同参画推進プラン」の答申について 報告 （１）令和３年度配偶者等による暴力相談実態聞き取り調査結果報告について
会議資料		＜資料＞ 資料１　令和３年度配偶者等による暴力相談実態聞き取り調査結果報告書
副会長		これより、第6回豊島区男女共同参画推進会議、女性活躍推進協議会を開催する。本日は会長が欠席のため、代わりに副会長が進行する。本日は、傍聴の方はいるか。
事務局		本日はいない。
		◆　議題1　「第5次としま男女共同参画推進プラン」の答申について
副会長		第5次としま男女共同参画推進プランの答申に先立ち、１点、プランに修正がある。事務局より説明をお願いする。
事務局		答申、第5次としま男女共同参画推進プラン本体の8ページを開いてほしい。コラム、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会の開催の部分、一番下から２行目、『カミングアウトした多様な性自認、性的志向の選手数も史上最多となりました』という文面の中にある『カミングアウト』を71ページ

	の用語説明に追加した。
副会長	了解した。この内容で答申を行う。
副会長	答申
区長	区長挨拶
	ー公務のため、区長退席ー
	◆ 報告１　令和3年度配偶者等による暴力相談実態聞き取り調査結果報告について
副会長	報告事項１について、事務局より説明をお願いする。
事務局	資料1説明
委員	相談者が必要とする支援として、「状況整理」とあるが、状況整理が必要なケ
事務局	ースとは具体的にどのような時か。
	被害を受けている相談者は、「自分は別れたほうがよいのか」それとも「逃げたほうがよいのか」などといった自分の考えがまとまっていない状態であるケースが多い。また、話の内容も時系列ではないため、話を聞きながら状況を整理していく必要がある。
委員	この実態調査は聞き取り調査であるということは、相談者本人が調査票に記入をしているのではなく、相談員が聞き取った内容を整理して報告書にまとめているという理解でよろしいか。
事務局	その通りである。
委員	本調査における回答者数は延べ人数であるか。何度も同じ相談者が同じ内容で相談した場合、そのたびにカウントされているということもあるのか。
事務局	本調査の回答者数は、延べ人数ではなく、実人数である。
委員	調査票の設計時に、何らかの区の政策に資する仮説を持ってアンケート調査項目を作っているのか。例えば、問10の「子どもの有無」、「子どもの人数」、「子どもの年齢」とあるが、これは子どもの人数が多いか少ないかということが、暴力があるかないかに関係するというような仮説があって聞いているのか。この問10の設問の意図として、回答をどのように施策に結び付けるのかを伺いたい。

事務局	子どもの有無や人数、年齢についての設問があるのは、避難する際や継続支援を行う際に、子どものことも考慮した施策を講じる必要があるからである。例えば、相談者の子どもが保育園に行っているか、あるいは小学校に行っているのかによって異なる対応をしなければならない。
委員	子どもの有無が暴力と関係するということを仮説として持っているわけではないということか。
事務局	その通りである。
委員	暴力を受けた被害期間について、「1年以上5年未満」という回答が一番多いが、暴力が何年間にもわたり続いているという実態にショックを受けた。今後の暴力防止対策を強化するよう要望する。
事務局	長期間にわたって暴力を受けている被害者が多いという実態を把握し、喫緊の課題として対応しなければならないと感じている。一方、暴力を受けている被害者が、自身が受けている暴力を「暴力」と気付いていないことも多い。暴力は肉体的暴力だけではなく、精神的暴力や経済的暴力など様々な暴力があるが、まずはそのことを周知・啓発することが重要であると考えている。従って、引き続き啓発にも力を入れていきたい。
委員	令和3年度配偶者等による暴力相談実態聞き取り調査は公表されるのか。
事務局	現状、公表をしていない。
委員	DVの相談窓口として、男女平等推進センターと子育て支援課の両方あるが、両方に相談するケースもあるのか。また、男女平等推進センターに相談する方は年齢の若い方が多いのか、それとも、小さいお子さんをお持ちの方は子育て支援に行ってしまって男女平等推進センターには行かないのか、その辺りの状況を知りたい。
事務局	一概に、子育て支援課にはお子さんがいる方が多く、男女平等推進センターは比較的、年齢層が高いということはない。また、両方に相談している方が全くいないとは言い切れないが、何度も同じ話をすることを嫌がる方が多いため、相談者が両方に相談するケースは非常に少ないと推測される。
副会長	以上で議事は終了である。2年間、第5次男女共同参画推進プランの策定に協力いただいた委員から挨拶をしてもらいたい。

会　議　録

委員	各委員挨拶
副会長	最後に、事務局から事務連絡があるか。
事務局	第5次としま男女共同参画推進プランは印刷ができ次第、送付する。また来年度、第1回会議は5月19日10時から、オンライン会議で予定している。
副会長	以上をもって、令和3年度第6回豊島区男女共同参画推進会議及び女性活躍推進協議会を閉会する。